

TOOLS for UR-C / URX-C for Mac

主なアップデート内容

V4.0.0

- Device Center を同梱しました。
- Device Center を介して Elgato 社の Stream Deck からハードウェアをコントロール出来るようになりました。(別途 Elgato Marketplace からプラグインのダウンロードが必要です。)
- URX22C、URX44C に対応しました。
- 軽微な不具合を修正しました。

Steinberg UR-C Applications

V3.2.0 → V3.3.0

- 軽微な不具合を修正しました。

Steinberg dspMixFx UR-C

V3.2.0 → V3.3.0

- User Manuals を User Guide に変更し、内容を更新しました。
- 軽微な不具合を修正しました。

Device Center

V1.0.0

- Stream Deck 用 Yamaha URC Plugin に対応しました。

V3.1.0 → V3.2.0

- 動作環境を変更しました。

Steinberg UR-C Applications

V3.1.0 → V3.2.0

- 同梱ファームウェアを更新しました。

Steinberg dspMixFx UR-C

V3.1.0 → V3.2.0

- 同梱ファームウェアを更新しました。

Basic FX Suite

V2.1.0 → V3.0.0

- AU、AAX プラグインが Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で動作するようになりました。

全プラグイン共通

- Steinberg Licensing に対応しました。

過去のアップデート内容

V3.0.0 → V3.1.0

- Pitch Fix を更新しました。

その他の主なアップデート内容については、以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg USB Driver

V3.1.6 → V3.1.7

- 対応機種を追加しました。

Steinberg UR-C Applications

V3.0.0 → V3.1.0

- Pitch Fix を更新しました。
- 同梱ファームウェアを更新しました。

Steinberg dspMixFx UR-C

V3.0.0 → V3.1.0

- Pitch Fix について、以下の更新を行いました。詳細は後述の「[PITCH FIX 画面 \(V3.1.0\)](#)」をご参照ください。
 - ピッチ補正の調整単位を、半音単位かセント単位（詳細設定）かに切り替えられるようになりました。
 - 音階補正の ON/OFF ができるようになりました。
 - SPEED と TOLERANCE の 2 つのパラメーターを追加しました。

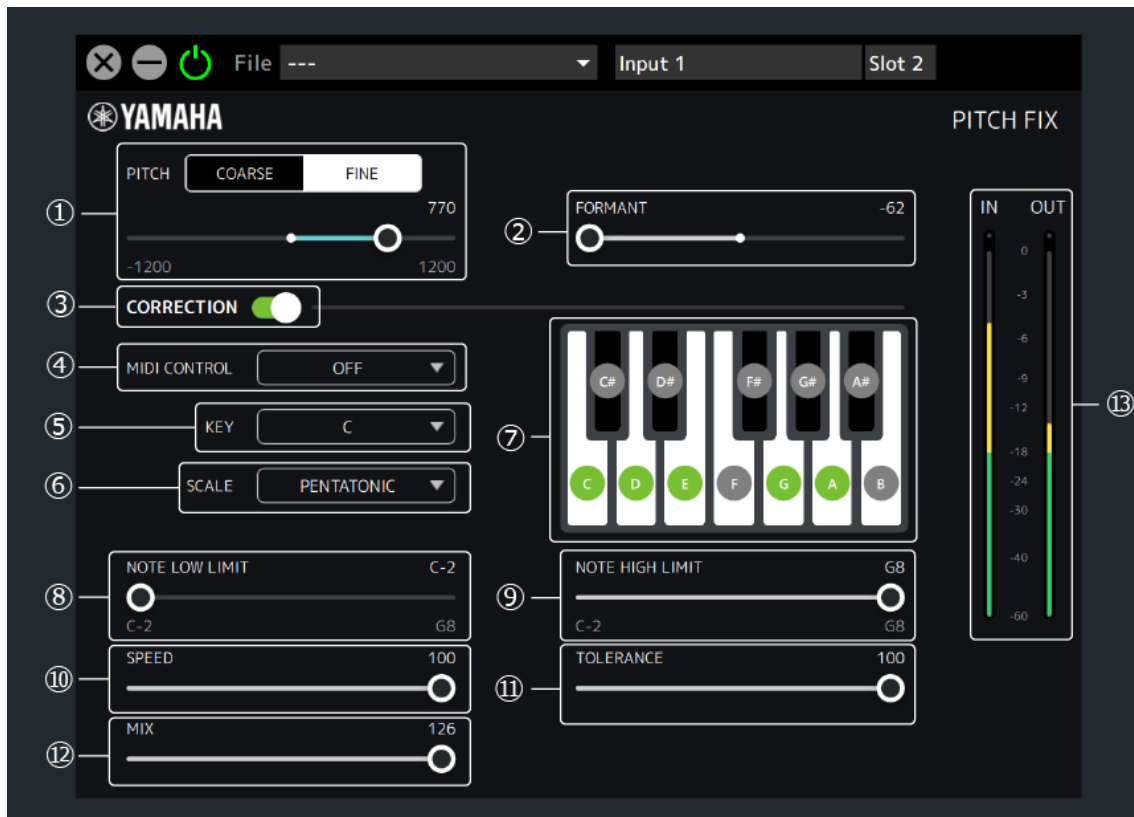
➤ パラメーター間の関連性を意識したレイアウトに変更しました。

- 軽微な不具合を修正しました。

PITCH FIX 画面 (V3.1.0)

ここでは、今回の変更を含めた PITCH FIX 画面について説明します。

青字：以前のバージョン (V3.0.0) から変更になった機能です。



① PITCH

ピッチ（音程）を上下 1 オクターブの範囲で調整します。ピッチの調整単位を **COARSE**（半音）、**FINE**（セント）から選択します。

範囲：

- **COARSE** 選択時：-12 ~ +12（半音単位）
- **FINE** 選択時：-1200 ~ +1200（セント単位）

② FORMANT

フォルマントを調整します。低い値に設定すると男性的な声質に、高い値に設定すると女性的な声質に変化します。

範囲：-62 ~ +62

③ CORRECTION

指定した音階に補正する機能の ON/OFF を行います。**CORRECTION** がオフの時は、④以降の操作

はできません。

④ MIDI CONTROL

MIDI ノートメッセージを使って音階補正の設定をします。本体の MIDI IN 端子と USB MIDI 両方に反応します。

選択肢	説明
OFF	MIDI での設定機能が無効になります。
SETTING	<p>この設定のとき、⑥SCALE は CUSTOM、または CHROMATIC 以外を選択できます。CHROMATIC を選んでいるときは、CUSTOM に変更されます。</p> <ul style="list-style-type: none">● SCALE が CUSTOM のとき： ⑦キーボードボタンの代わりに音階を指定します。指定された音階と同じ音階のノートオンメッセージを受信すると、指定を解除します。また、入力された音階の範囲に⑧NOTE LOW LIMIT と⑨NOTE HIGH LIMIT を設定します。ノートオフには反応しません。● SCALE が CUSTOM 以外のとき： 最後に入力されたノートの Key に⑤KEY を設定します。
REAL TIME	<p>ノートオン/オフで音階補正をリアルタイムに指定します。この設定のとき、⑥SCALE は CUSTOM または SINGLE を選択できます。SINGLE 以外を選んでいるときは、CUSTOM に変更されます。</p> <ul style="list-style-type: none">● SCALE が CUSTOM のとき： ノートオンになっているすべての音階を指定します。● SCALE が SINGLE のとき： 最後にノートオンになった音階を指定します。

⑤ KEY

⑥ SCALE

キーとスケールを選んで補正先の音階を指定します。指定した音階は⑦キーボードボタンに反映されます。

KEY の範囲：C、C#、B、…、A#、B

SCALE の選択肢：CUSTOM、SINGLE、MAJOR、NATURAL MINOR、HARMONIC MINOR、MELODIC MINOR、PENTATONIC、CHROMATIC

⑦ キーボードボタン

選択した⑤KEY、⑥SCALE の音が表示されます。キーボードボタンをタップすると、補正する音を選択できます（SCALE は CUSTOM に変更されます）。④MIDI CONTROL が SETTING または REAL TIME のとき、キーボードボタンは操作できません。

⑧ **NOTE LOW LIMIT**

⑨ **NOTE HIGH LIMIT**

補正対象とする入力ピッチの上限と下限を設定します。

範囲：C-2、C#-2、…、F#8、G8

HINT

- たとえば、入力音のオクターブが違って必ず C3 から B3 の音階に補正したいときには、NOTE LOW LIMIT を C3 に、NOTE HIGH LIMIT を B3 に設定します。
- 範囲内のキーボードボタンが一つもオンになっていないときは、音階補正はされません。たとえば、F のキーボードボタンだけオンになっていて、NOTE LOW LIMIT が C3、NOTE HIGH LIMIT が E3 になっているときなどがそれに相当します。

⑩ **SPEED**

補正先の音階に到達する速さを設定します。

範囲：0 ～ 100

⑪ **TOLERANCE**

音程の変化に対する感度を設定します。

範囲：0 ～ 100

⑫ **MIX**

音階補正をした信号としていない信号のミックスバランスを調整します。値が大きいほど、音階補正後の音量が大きくなります。

範囲：0 ～ 126

⑬ **レベルメーター**

信号のレベルを表示します。ピークホールドは常に ON です。

表示色	説明
緑	-18 dB まで
黄色	0 dB まで
赤	CLIP した場合

V2.1.0 → V3.0.0

- V2.0 までのミックスに加えて配信用のミックスを追加しました。
- DSP エフェクトを追加しました(一部は配信ミックスでのみ使用可能です)。
新機能の詳細については、UR-C V3.0 追補マニュアルをご参照ください。

その他の主なアップデート内容については、以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg USB Driver

V2.1.2/V3.1.3 → V3.1.6

- UR-C を 3 系統のオーディオデバイスとして扱えるようになりました。
- 対応機種を追加しました。
- 軽微な不具合を修正しました。

Steinberg UR-C Applications

V2.1.0 → V3.0.0

- 配信用のミックスが作れるようになりました。
- Pitch Fix、Delay、Gate、Comp、Ducker、Multi-band Comp の 6 つのエフェクトを追加しました。
(Gate、Comp、Ducker、Multi-band Comp は配信ミックス専用です)
- 同梱ファームウェアを更新しました。

Steinberg UR-C Extension

V2.1.0 → V3.0.0

- 入力チャンネルに Pitch Fix をインサートできるようになりました。
- REV-X タイプに Reverb(Hall、Room、Plate)に加え、Delay を設定できるようになりました。(Reverb または Delay の選択となります)

Steinberg dspMixFx UR-C

V2.1.0 → V3.0.0

- 配信用ミクスタブを追加しました。
- 配信用ミックスに配信用エフェクトのインサートスロットを追加しました。(Gate、Comp、Ducker、Multi-band Comp をインサート可能です)
- 入力チャンネルに Pitch Fix をインサートできるようになりました。
- REV-X タイプに Reverb(Hall、Room、Plate)に加え、Delay を設定できるようになりました。(Reverb または Delay の選択となります)
- Loopback パラメーターを廃止しました。
- 軽微な不具合を修正しました。

V2.0.0 → V2.1.0

- Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で動作するようになりました。

その他の主なアップデートの内容については、以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg USB Driver

V2.1.2/V3.1.2 → V2.1.2/V3.1.3

- Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で動作するようになりました。

- macOS 10.14, macOS10.15 には V2.1.2 がインストールされます。
- macOS 11.x, macOS 12.x には V3.1.3 がインストールされます。

Steinberg UR-C Applications

V2.0.0 → V2.1.0

- Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で動作するようになりました。

Steinberg UR-C Extension

V2.0.0 → V2.1.0

- Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で Cubase との連携機能が動作するようになりました。
(Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で動作させるためには Cubase12 以降が必要です)

Steinberg dspMixFx UR-C

V2.0.0 → V2.1.0

- Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で動作するようになりました。

Basic FX Suite

V2.0.0 → V2.1.0

- Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で VST プラグインが動作するようになりました。
(Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で動作させるためには Cubase12 以降など、Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境での動作に対応した DAW が必要です)

V1.5.1 → V2.0.0

- macOS 12 に対応しました。
- 動作環境を変更しました。

その他の主なアップデートの内容については、以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg USB Driver

V2.0.5/V3.0.5 → V2.1.2/V3.1.2

- 軽微な不具合を修正しました。
- macOS 10.14, macOS10.15 には V2.1.2 がインストールされます。
- macOS 11.x, macOS 12.x には V3.1.2 がインストールされます。

Steinberg UR-C Applications

V1.5.1 → V2.0.0

- DSP エフェクトの Guitar Amp Classics に機能を追加しました。変更点は「Basic FX Suite」の項をご

参照ください。

Steinberg UR-C Extension

V1.5.1 → V2.0.0

- Cubase の MixConsole にもハードウェア設定が表示されるようになりました。
- Cubase からハードウェアのチャンネルリンクを制御できるようになりました。

Steinberg dspMixFx UR-C

V1.5.1 → V2.0.0

- ファームウェアアップデート機能を追加しました。

Basic FX Suite

V1.5.1 → V2.0.0

全プラグイン共通

- - ベンダー名を Yamaha に変更しました。DAW でベンダー名表示をした場合に Yamaha 以下に各プラグインが表示されます。

Guitar Amp Classics

- ノイズゲートを追加しました。
- キャビネットシミュレーションを追加しました。
- キャビネットに立てるマイクポジションを設定できるようになりました。
- (Native 版のみ) MONO/STEREO スイッチを追加しました。

V1.5.0 → V1.5.1

- macOS 11 に対応しました。
- 動作環境を変更しました。

その他の主なアップデートの内容については、以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg USB Driver

V2.0.4 → V2.0.5/V3.0.5

- macOS 11 に対応しました。
- macOS 10.13, macOS 10.14, macOS 10.15 には V2.0.5 がインストールされます。
- macOS 11 には V3.0.5 がインストールされます。

Steinberg UR-C Applications

V1.5.0 → V1.5.1

- macOS 11 に対応しました。

Steinberg UR-C Extension

V1.5.0 → V1.5.1

- 同じ種類のプラグインエディタを複数開くと、最後のプラグインしか値の入力ができない問題を修正しました。

Steinberg dspMixFx UR-C

V1.5.0 → V1.5.1

- macOS 11 に対応しました。

Basic FX Suite

V1.5.0 → V1.5.1

- 同じ種類のプラグインエディタを複数開くと、最後のプラグインしか値の入力ができない問題を修正しました。

V1.1.0 → V1.5.0

- 動作環境を変更しました。(macOS 10.13、 macOS 10.14、 macOS 10.15)
- ファームウェアバージョン V1.50 以上をお使いください。

その他の主なアップデートの内容については、以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg USB Driver

V2.0.3 → V2.0.4

- Cubase 11 で UR22C/UR44C/UR24C のポート名が正しく表示されない問題を修正しました。

Steinberg UR-C Applications

V1.1.0 → V1.5.0

- DSP エフェクトの GUI デザインを更新しました。変更点は「Basic FX Suite」の項をご参照ください。

Steinberg dspMixFx UR-C

V1.1.0 → V1.5.0

- 本体のループバック機能に、ボイスチャットアプリケーションの使用時に最適化したボイスチャットモードを追加しました。

Basic FX Suite

V1.1.2 → V1.5.0

全プラグイン共通

- GUI のデザインを一新し、HiDPI 対応しました。高解像度モニターでの視認性を向上しました。
- Basic FX Suite が AAX プラグインフォーマットに対応し、Pro Tools で使用できるようになりました。
- 75 個以上のプリセットを追加しました。
- 各プラグインに INPUT/OUTPUT メーターを追加しました。

Sweet Spot Morphing Channel Strip

- (Native 版のみ) EQ グラフにスペクトラム表示できるようになりました。
- EQ の各バンドを個別に ON/OFF できるようになりました。
- サイドチェーンフィルターの ON/OFF ができるようになりました。
- サイドチェーンメーターを追加しました。
- Stereo チャンネル用と Mono チャンネル用で分かれていたプラグインを統合しました。

V1.0.2 → V1.1.0

- UR24C に対応しました。

Steinberg UR-C Applications

V1.0.2 → V1.1.0

- Cubase と dspMixFx UR-C で、エフェクトのパラメーターの表示が一致しない場合がある問題を修正しました。

Steinberg UR-C Extension

V1.0.1 → V1.1.0

- Cubase と HALion を同時に使用すると、PC の動作が遅くなる問題を修正しました。

V1.0.1 → V1.0.2

- macOS 10.15 に対応しました。
- Yamaha Steinberg USB Driver V2.0.1 で、Cubase が異常終了することがある問題を修正しました。

UR44C/UR22C Firmware

主なアップデート内容

V3.10 → V3.20

- Pitch Fix において、入力音の音程変化が小さい時に正しい音階に補正されなくなるという V3.10 の不具合を修正しました。

V3.00 → V3.10

- Pitch Fix に以下の機能を追加/変更しました。詳細は、TOOLS for UR-C V3.1.0 for Windows/Mac リリースノートをご参照ください。
 - 指定した音階に補正する機能の ON/OFF を行えるようになりました。
 - MIDI CONTROL が SETTING に、SCALE が CUSTOM に設定されているときは、指定された音階と同じ音階のノートオンメッセージを受信すると、指定を解除するように仕様を変更しました。
 - 補正先の音階に到達する速さの設定を行うパラメーター「SPEED」を追加しました。
 - 音程の変化に対する感度の設定を行うパラメーター「TOLERANCE」を追加しました。
- 1024 バイトを超えた MIDI メッセージをコンピューターから受信した時に、UR-C の MIDI OUT 端子に正しく再送信できなくなる V3.00 の不具合を修正しました。

V2.01 → V3.00

以下の機能を追加/変更しました。詳細は、UR-C V3.0 追補マニュアルをご参照ください。

- 入力チャンネルのエフェクトで選択できるエフェクトタイプに Pitch Fix を追加しました。
- V2.0 までのミックスに加えて配信用のミックスを追加しました。
- 配信ミックスにかけるエフェクトを追加しました。
 - 入力チャンネルに Gate、Comp のエフェクトタイプを選択してインサートできます。
 - DAW/Music/Voice チャンネルに Ducker をインサートできます。
 - 配信ミックス出力段に、Multi-Band Compressor をインサートできます。
- 3 系統の USB オーディオ入出力機能を追加しました。

Yamaha Steinberg USB Driver との組み合わせで、UR-C を 3 系統のオーディオデバイスとして表示できるようになりました。コンピューター上の複数アプリケーションの再生音を Music、Voice および DAW チャンネルに割り当ててミックスを調整できます。

また従来は、Loopback パラメーターでコンピューターに送る信号を切り分けていましたが、Streaming、Voice および Input1/2 の出力をコンピューター上の複数のアプリケーションに個別に出力できるようになりました。この変更に伴って、Loopback パラメーターを廃止しました。

UR22C は Streaming に配信用ミックス、Voice に Input Mix（本体入力のためのミックス）を出力します。UR44C は Streaming に配信用ミックス、Voice に Mix2 を出力します。

この機能は、iPad または iPhone と接続しているときは追加されません。

その他、軽微な不具合を修正しました。

V2.00 → V2.01

Mac 上で SCENE ファイル(xxx.UR22C, xxx.UR44C)をダブルクリックして dspMixFx UR-C を起動したときに、UR-C 本体と dspMixFx UR-C の設定の同期に時間がかかる場合がある不具合を修正しました。

V1.50, V1.60～V1.62* → V2.00

エフェクト Guitar Amp Classics に以下の機能を追加しました。

- ゲート機能を追加しました。
- シミュレートされたスピーカーキャビネットを 8 種類から選択できるようになりました。
- スピーカーキャビネットに立てるマイクの位置のシミュレーションを Center/Edge の 2 種類から選択できるようになりました。

*V1.60～V1.62 は内部の一部の部品変更への対応であり機能は V1.50 と同じです。

V1.01 → V1.50

- エフェクトに以下の機能を追加しました。

Sweet Spot Morphing Channel Strip

- EQ の各バンドを個別に ON/OFF できるようになりました。
- サイドチェーンフィルターの ON/OFF ができるようになりました。
- サイドチェーンメーターを追加しました。
- INPUT メーターを追加しました。

Guitar Amp Classics

- INPUT メーターを追加しました。

REV-X

- INPUT/OUTPUT メーターを追加しました。

- ループバック機能に、ボイスチャットアプリケーションの使用時に最適化したボイスチャットモードを追加しました。
- Cubasis で“Send MIDI Clock”をオンしても UR-C 本体の MIDI OUT から MIDI Clock が出力されない不具合を修正しました。
- Cubasis の“Background Audio”の設定がオフの時、Cubasis の Background/Foreground 切り替え時に再生音にノイズが発生する不具合を修正しました。
- iPad/iPhone のアプリケーションからの音声再生時にサンプルレートを変更すると、ノイズが発生することがあったため、サンプルレート変更時のミュート時間を延ばしました。
- MIDI 端子から MIDI CLOCK を入力しているときに、dspMixFx UR-C を起動すると、本体パラメーターと同期がとれないことがある不具合を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

V1.00 → V1.01

UR44C にて、条件によってはまれに起動時にアナログ音声の入出力ができなくなる不具合を修正しました。

UR24C Firmware

主なアップデート内容

V3.10 → V3.20

- Pitch Fix において、入力音の音程変化が小さい時に正しい音階に補正されなくなるという V3.10 の不具合を修正しました。

V3.00 → V3.10

- Pitch Fix に以下の機能を追加/変更しました。詳細は、TOOLS for UR-C V3.1.0 for Windows/Mac リリースノートをご参照ください。
 - 指定した音階に補正する機能の ON/OFF を行えるようになりました。
 - MIDI CONTROL が SETTING に、SCALE が CUSTOM に設定されているときは、指定された音階と同じ音階のノートオンメッセージを受信すると、指定を解除するように仕様を変更しました。
 - 補正先の音階に到達する速さの設定を行うパラメーター「SPEED」を追加しました。
 - 音程の変化に対する感度の設定を行うパラメーター「TOLERANCE」を追加しました。
- 1024 バイトを超えた MIDI メッセージをコンピューターから受信した時に、UR-C の MIDI OUT 端子に正しく再送信できなくなる V3.00 の不具合を修正しました。

V2.01 → V3.00

以下の機能を追加/変更しました。詳細は、UR-C V3.0 追補マニュアルをご参照ください。

- 入力チャンネルのエフェクトで選択できるエフェクトタイプに Pitch Fix を追加しました。
- V2.0 までのミックスに加えて配信用のミックスを追加しました。
- 配信ミックスにかけるエフェクトを追加しました。
 - 入力チャンネルに Gate、Comp のエフェクトタイプを選択してインサートできます。
 - DAW/Music/Voice チャンネルに Ducker をインサートできます。
 - 配信ミックス出力段に、Multi-Band Compressor をインサートできます。
- 3 系統の USB オーディオ入出力機能を追加しました。

Yamaha Steinberg USB Driver との組み合わせで、UR-C を 3 系統のオーディオデバイスとして表示できるようになりました。コンピューター上の複数アプリケーションの再生音を Music、Voice および DAW チャンネルに割り当ててミックスを調整できます。

また従来は、Loopback パラメーターでコンピューターに送る信号を切り分けていましたが、Streaming、Voice および Input1/2 の出力をコンピューター上の複数のアプリケーションに個別に出力できるようになりました。この変更に伴って、Loopback パラメーターを廃止しました。

UR24C は Streaming に配信用ミックス、Voice に Input Mix（本体入力のみミックス）を出力します。

この機能は、iPad または iPhone と接続しているときは追加されません。

その他、軽微な不具合を修正しました。

V2.00 → V2.01

Mac 上で SCENE ファイル(xxx.UR24C)をダブルクリックして dspMixFx UR-C を起動したときに、UR-C 本体と dspMixFx UR-C の設定の同期に時間がかかる場合がある不具合を修正しました。

V1.50 → V2.00

エフェクト Guitar Amp Classics に以下の機能を追加しました。

- ゲート機能を追加しました。
- シミュレートされたスピーカーキャビネットを 8 種類から選択できるようになりました。
- スピーカーキャビネットに立てるマイクの位置のシミュレーションを Center/Edge の 2 種類から選択できるようになりました。

V1.00 → V1.50

- エフェクトに以下の機能を追加しました。

Sweet Spot Morphing Channel Strip

- EQ の各バンドを個別に ON/OFF できるようになりました。
- サイドチェーンフィルターの ON/OFF ができるようになりました。
- サイドチェーンメーターを追加しました。
- INPUT メーターを追加しました。

Guitar Amp Classics

- INPUT メーターを追加しました。

REV-X

- INPUT/OUTPUT メーターを追加しました。
- ループバック機能に、ボイスチャットアプリケーションの使用時に最適化したボイスチャットモードを追加しました。
- Cubasis で "Send MIDI Clock" をオンしても UR-C 本体の MIDI OUT から MIDI Clock が出力されない不具合を修正しました。
- Cubasis の "Background Audio" の設定がオフの時、Cubasis の Background/Foreground 切り替え時に再生音にノイズが発生する不具合を修正しました。
- サンプルレート変更時や SPLIT/STEREO 切り替え時に、MIX ノブの位置にかかわらず、一瞬両方 (INPUT と DAW、CUE と MASTER) の音声聞こえてしまう不具合を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

UR816C Firmware

主なアップデート内容

V3.10 → V3.20

- Pitch Fix において、入力音の音程変化が小さい時に正しい音階に補正されなくなるという V3.10 の不具合を修正しました。

V3.00 → V3.10

- Pitch Fix に以下の機能を追加/変更しました。詳細は、TOOLS for UR-C V3.1.0 for Windows/Mac リリースノートをご参照ください。
 - 指定した音階に補正する機能の ON/OFF を行えるようになりました。
 - MIDI CONTROL が SETTING に、SCALE が CUSTOM に設定されているときは、指定された音階

と同じ音階のノートオンメッセージを受信すると、指定を解除するように仕様を変更しました。

- 補正先の音階に到達する速さの設定を行うパラメーター「SPEED」を追加しました。
- 音程の変化に対する感度の設定を行うパラメーター「TOLERANCE」を追加しました。
- 1024 バイトを超えた MIDI メッセージをコンピューターから受信した時に、UR-C の MIDI OUT 端子に正しく再送信できなくなる V3.00 の不具合を修正しました。

V2.01 → V3.00

以下の機能を追加/変更しました。詳細は、UR-C V3.0 追補マニュアルをご参照ください。

- 入力チャンネルのエフェクトで選択できるエフェクトタイプに Pitch Fix を追加しました。
- Mix4 を従来通りのモニターミックスと配信用ミックスと切り替えて使用するように仕様を変更しました。配信ミックスに切り替えて使用する場合は、以下のエフェクトが追加されます。
 - 入力チャンネルに Gate、Comp のエフェクトタイプを選択してインサートできます。
 - DAW/Music/Voice チャンネルに Ducker をインサートできます。
 - 配信ミックス出力段に、Multi-Band Compressor をインサートできます。
- 3 系統の USB オーディオ入出力機能を追加しました。

Yamaha Steinberg USB Driver との組み合わせで、UR-C を 3 系統のオーディオデバイスとして表示できるようになりました。コンピューター上の複数アプリケーションの再生音を Music、Voice および DAW チャンネルに割り当ててミックスを調整できます。

また従来は、Loopback パラメーターでコンピューターに送る信号を切り分けていましたが、Streaming、Voice および Input1/2 の出力をコンピューター上の複数のアプリケーションに個別に出力できるようになりました。この変更に伴って、Loopback パラメーターを廃止しました。

UR816C は Streaming に配信用ミックス、Voice に Mix2 を出力します。

この機能は、iPad または iPhone と接続しているときは追加されません。

NOTE

USB オーディオの入出力チャンネルを増やしたため、一部の Windows PC では、USB 2.0 接続した場合にサンプルレートを 176.4 kHz、192 kHz に設定できません。USB 3.0 接続するか、サンプリングレートを 96 kHz 以下でご使用ください。

その他、軽微な不具合を修正しました。

V2.00 → V2.01

Mac上でSCENEファイル(xxx.UR22C, xxx.UR44C)をダブルクリックしてdspMixFx UR-Cを起動したときに、UR-C本体とdspMixFx UR-Cの設定の同期に時間がかかる場合がある不具合を修正しました。

V1.50 → V2.00

エフェクトGuitar Amp Classicsに以下の機能を追加しました。

- ゲート機能を追加しました
- シミュレートされたスピーカーキャビネットを8種類から選択できるようになりました。
- スピーカーキャビネットに立てるマイクの位置のシミュレーションをCenter/Edgeの2種類から選択できるようになりました。

サンプルレート176.4 kHz、192 kHzのときに、dspMixFx UR-CのMIX 1、MIX2のDAW INのメーター表示が異常だった不具合を修正しました。

V1.00、V1.01 → V1.50

- エフェクトに以下の機能を追加しました。

Sweet Spot Morphing Channel Strip

- EQの各バンドを個別にON/OFFできるようになりました。
- サイドチェーンフィルターのON/OFFができるようになりました。
- サイドチェーンメーターを追加しました。
- INPUTメーターを追加しました。

Guitar Amp Classics

- INPUTメーターを追加しました。

REV-X

- INPUT/OUTPUTメーターを追加しました。

- ループバック機能に、ボイスチャットアプリケーションの使用時に最適化したボイスチャットモードを追加しました。
- Cubasisで“Send MIDI Clock”をオンしてもUR-C本体のMIDI OUTからMIDI Clockが出力されない不具合を修正しました。

- UR816C を起動したまま、PC を起動すると、クロックソースが必ず Internal になってしまう不具合を修正しました。
- Cubasis の"Background Audio"の設定がオフの時、Cubasis の Background/Foreground 切り替え時に再生音にノイズが発生する不具合を修正しました。
- iPad/iPhone のアプリケーションからの音声再生時にサンプルレートを変更すると、ノイズが発生することがあったため、サンプルレート変更時のミュート時間を延ばしました。
- 外部クロック同期中に、Yamaha Steinberg USB ドライバーのコントロールパネル操作でサンプルレートを変更しようとする、見かけ上サンプルレートが変わってしまうことがある問題を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。